

「京都文化芸術プログラム 2020」における重要事業（11 事業）の 主な取組（27 年度・28 年度）

重要事業 1 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組

● ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業

伝統的な文化芸術から現代芸術まで、幅広い分野にわたり京都で活動する一流の芸術家を学校に派遣して子どもたちに授業を行うワークショップを実施。

【27 年度～】

伝統的な文化芸術分野の講義数を大幅に増加して実施（26 年度：21 箇所→27 年度：41 箇所）

● 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組（公演鑑賞）

【28 年度～】

中学生を対象に能や狂言、日本舞踊など伝統的な文化芸術を能楽堂などほんものの場所で鑑賞し、その魅力に触れる公演鑑賞を新たに実施する。平成 28 年度は、モデル事業として、主に市内の中学 1 年生（5～7 校程度：800～900 名）を対象に、1 日 2 公演の実施を予定。



能楽「土蜘蛛」（平成 27 年度夏休み能楽体験教室より）

重要事業 2 創造環境の整備

● ロームシアター京都

京都会館が、平成 28 年 1 月 10 日、劇場機能を大きく向上させたロームシアター京都としてリニューアルオープン。この劇場を拠点に「世界の文化首都・京都」を更に発信していくため、開館に先立ち、平成 26 年度からオープニング・プレ事業を実施し、市民の皆様により楽しんでいただける公演、イベント等を開催している。

【27 年度】リニューアルオープン

【28 年度】ロームシアター京都オープニング事業を実施
（～平成 28 年 12 月まで開催）



ロームシアター京都
写真：小川重雄

● 京都市美術館

平成 25 年に開館 80 周年を迎えた京都市美術館は、新しいニーズに応じた展覧会の開催や入館者サービスの向上などが強く求められているほか、建物・設備両面での老朽化をはじめ、展示環境における課題も指摘されており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。こうした現状を踏まえ、平成 27 年 3 月には「京都市美術館再整備基本計画」を策定。平成 28 年度は、実施設計を行うとともに、埋蔵文化財の発掘調査等を実施する。

【27 年度】埋蔵文化財発掘調査

【28 年度】埋蔵文化財発掘調査及び実施設計の策定（予定）



京都市美術館

● 京都市立芸術大学

平成 27 年 3 月に、移転整備の基本的な方向性を示す「京都市立芸術大学の移転整備基本構想」を策定。平成 35 年度に全キャンパスが一括して移転することを踏まえ、芸術大学が世界を視野に更なる飛躍を目指すとともに、文化芸術都市・京都の発展に大きく貢献できるよう全体コンセプトや施設の配置計画、事業規模、事業スケジュール等を盛り込んだ基本計画を策定する。

【27 年度】基本計画の検討

【28 年度】基本計画の策定

重要事業 3 国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の創設とそれに向けた先駆的取組の実施

伝統芸能文化を未来へと継承していくために、国立機関としての「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」の創設を目指している。また、そのセンターが持つべき機能を先行的に実現する事業として、京都に集積する伝統的な文化芸術を国内外に発信するための創作公演等を実施する。

【27 年度】

- ・「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」の整備に向け国へ要望
- ・「五感で感じる和の文化」事業の実施（中規模の創作公演など）

【28 年度】

- ・取組の継続（大規模の創作公演をロームシアター京都で開催予定）

重要事業 4 「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進

区民提案により実施する京都市の支援事業等のうちから「文化芸術による地域のまちづくり事業」として認定する取組を平成 26 年度から開始。各区における取組の情報を集約し、地域に根差した暮らしの文化の魅力を再発見し、市民が主体となったまちづくりを進めていく。

【27 年度】「京都おもてなし百科（仮称）」の作成に向けて、市内各区の取組から文化芸術に関する事業等をリスト化（平成 27 年度：68 件）

【28 年度】取組の継続

重要事業 5 「京都・和の文化体験の日」の実施

大学生をはじめとする若者が伝統的な文化芸術に触れ、体験できる取組を進める。また、「伝統産業の日」とも連携しながら、伝統産業の活性化に資することを目指していく。

【27 年度】「京都・和の文化体験の日」 大学生を対象に対談、鑑賞等を実施（大江能楽堂ほか）

【28 年度】取組の継続

重要事業 6 未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業

2020 年までの期間で、京都市指定・登録文化財の公開に向けた修理補助を実施。大規模な修理事業において所有者負担を軽減することにより、修理事業を促進するとともに、東京オリンピック・パラリンピック期間を中心に一般公開していく。

【27 年度】二尊院を含む 4 件の修理事業を実施

【28 年度】取組の継続

重要事業7 「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度の創設

京都の文化遺産をテーマごとに、地域性、歴史性、物語性を持った集合体としてまとめ、認定する。

【27年度】「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度（略称：「京都遺産」）の創設

【28年度】京都の地域社会、文化遺産を支える人や匠の技、精神性などに基づくテーマを決め、そのテーマに関連する文化遺産を調査し、集合体として認定

重要事業8 文化・観光に関する情報の一元的把握及び入場券等を販売するWEBシステムの構築

文化芸術情報サイトにおける海外向けページのコンテンツを充実するとともに、文化芸術情報、観光情報の相互にアクセスができるなど、国内外の観光客により手軽に分かりやすく、より質の高い情報を提供する。

【27年度】文化・観光に関するサイトの調査・検討

【28年度】取組の継続

重要事業9 「東京オリンピック・パラリンピック」等を契機とした国際的な祭典の開催

● スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、オリンピック・ムーブメントを高めるためのキックオフイベントとして、スポーツや文化による国際貢献等について議論・情報発信するフォーラムが開催される。日本政府が主催し、京都会場は京都市・京都府・京都商工会議所が協力して開催する。また、開催に併せて、市独自事業として同時期に文化芸術に触れることのできるワークショップを開催する。

- ・平成28年10月19日（水）～29日（木）：京都開催
- ・平成28年10月20日（木）～22日（土）：東京開催

<10月19日京都日程の概要>

- ・午前 全体会議（ロームシアター京都）
- ・昼食 京料理の提供（みやこめっせ）
- ・午後 分科会（京都武道センター（旧武徳殿）、ロームシアター京都、京都文化博物館）
文化イベント（二条城）
立食夕食会（市内のホテル）



二条城をユニーク
メニューとして活用



外国人等を対象と
した文化プログラム

● 京都文化フェア（仮称）2016-2020の実施

千玄室氏をはじめとした京都ゆかりの文化人による呼び掛けにより、2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催に合わせて、オール京都で文化の祭典を開催する。

【27年度】

- ・基本構想を策定し、名称を「京都文化カプロジェクト」に決定（平成28年3月）

【28年度】

- ・実行委員会を組織し、実施計画の策定を進めるとともに、市民やNPO、文化芸術団体等が行う文化芸術に関する取組への支援、シンポジウム及びワークショップ等を実施する。



● 伊藤若冲生誕 300 年記念事業

平成 28 年は、京都のまちに深い関わりのある絵師・伊藤若冲の生誕 300 年を迎えることから、若冲の功績を顕彰し、その魅力を国内外へ発信するため、若冲ゆかりの美術館、寺院、商店街等と連携し、生誕 300 年を記念した多彩な取組を展開する。

- ・ 展覧会の開催（京都市美術館 平成 28 年 10 月 4 日～12 月 4 日）
- ・ シンポジウム・ワークショップの開催

京都創生 PR ポスター
伊藤若冲「雪中雄鶏図」
細見美術館蔵



● 東アジア文化都市 2017

日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日中韓 3 箇国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、様々な文化芸術イベント等を通じて、東アジア域内の相互理解と連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力を高めることを目指す。

【27 年度】

- ・ 準備委員会設立（平成 28 年 3 月）

【28 年度】

- ・ プレ事業の実施（平成 28 年秋）
- ・ オープニング事業の実施（平成 29 年 2 月）

開催年	平成 26(2014)年	平成 27(2015)年	平成 28(2016)年	平成 29(2017)年
開催都市	横浜市 泉州市(中国) 光州広域市(韓国)	新潟市 青島市(中国) 清州市(韓国)	奈良市 寧波市(中国) 済州特別自治道(韓国)	京都市 中国, 韓国は未定

● 大政奉還 150 周年記念プロジェクト

大政奉還から 150 周年となる平成 29 年を迎えるに当たり、幕末・維新に京都で活躍した先人たちの歩みを改めて振り返り、再評価・再認識するとともに、先人を縁とする都市と交流・連携を深める記念プロジェクトを実施する。

【27 年度】

- ・ 連絡会議開催（平成 27 年 5 月）
- ・ ホームページ開設 (<http://www.taiseihokan150.jp/>)
（平成 28 年 3 月）

【28 年度】

- ・ 京都市実行委員会（仮称）の設立
- ・ 本事業を周知するプレ事業の実施
- ・ オープニング事業（記念シンポジウム）の実施
- ・ 岩倉具視関係資料の修復



大政奉還 150 周年記念
プロジェクトホームページ

● 世界考古学会議（WAC）の開催

世界最大規模の考古学の学会である世界考古学会議（WAC）第 8 回大会が、東アジアで初めて京都市で開催される（開催期間：平成 28 年 8 月 28 日～9 月 2 日）。この機会を捉え、市民の皆様と歴史・文化・文化財保存に関する情報と認識の共有化を図ることを目的として、市民参加型講演会を世界考古学会議実行委員会と共催する。

重要事業 10 市民, NPO, 大学, 企業, 文化芸術団体等との連携や支援による様々な文化芸術活動の展開

京都で開催される文化芸術の事業を京都全体で発信するなど, 2020 年に向けて行政と市民, NPO, 大学, 企業, 文化芸術団体等が連携し, 文化芸術の振興に取り組んでいく。

【27 年度】

- 京都文化芸術コアネットワークを基盤とした「アートエキシビション・京都」の実施等
京都国際現代芸術祭の会期に併せて, 京都の様々な文化芸術の魅力を発信 (冊子, ホームページ等で紹介)

重要事業 11 アーティスト・イン・レジデンス (AIR) の強化など世界のアーティストが集まる文化芸術のハブを目指した環境整備

世界中のアーティストをつなぐ窓口としての役割を果たすため, 文化庁と連携し, 京都芸術センターにおいて全国の AIR の活動拠点となるための取組を実施する。

【27 年度】

- ・文化庁関西分室と連携した AIR シンポジウムの開催等

【28 年度】

- ・文化庁関西分室と連携した AIR シンポジウムの開催等 (予定)
- ・東アジア文化都市事業として日・中・韓 3 都市による文化交流事業「フェルトシュテルケ 東アジア (仮称)」の開催準備 (予定)

※京都文化芸術プログラム 2020 の年次スケジュールは[参考 2](#)を参照ください。